

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第449号 平成22年5月



平成22. 23年度 西多摩医師会新執行部発足

目 次

	頁		頁
1) 新役員の挨拶の言葉	広報部 … 2	6) 連載企画 「アイスショー」	土田大介 … 14
2) 西多摩医師会定時総会開催	広報部 … 9	7) 伝言板	広報部 … 15
3) 専門医に学ぶ	吉峰俊輔 … 10	8) 理事会報告	広報部 … 15
4) 感染症だより	西多摩保健所 … 12	9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 18
5) 広報だより		10) あとがき	鹿児島武志 … 20
「異常気象と私の不運」	鈴木寿和 … 13	11) お知らせ	事務局 … 21

会長就任の御挨拶



横田卓史

この度真鍋会長のあとを引き継ぎ会長に就任し、新執行部とともに会務を担当することになりました。過去3期6年間にわたり、ご指導、ご尽力頂き会長職を全うされました真鍋前会長に心より感謝を申し上げます。今期西多摩医師会として取り組むべき課題は山積しております。不可避の短期的な課題は三点あります。まず、平成25年に迎える西多摩医師会創立100周年記念事業、公益法人法改定に伴う新法人移行の問題、最後に新医師会館建設の問題です。明治26年発足以来、諸先輩の地域医療に対する弛まぬ御尽力と御研鑽に支えられて、今日の医師会があることに感謝の思いを馳せ、異なる8市町村にまたがる医療圏にあって、会員の融和と協調の精神で纏ってきた良き伝統を、次の世紀へ継承してゆくことは現会員としての義務であります。また今後新法人、新医師会として未来に引き継ぐべき確固たる目標と組織の在り方を提示してゆく必要があります。具体的には既に記念誌編集委員会が開催され検討されておりますし、新たに公益法人移行検討委員会を発足させ協議に入る予定です。新会館建設に関しては、建設予定地として青梅市所有の土地が最有力候補地と考えられますが、役員改選に伴う新建設準備委員会において引き続き検討されると思います。従来からの継続的課題としては医師会の活性化の問題が挙げられます。組織としての医師会の活性化を図るには先ず執行部である理事会の活性化が先決です。幸い今回大変有能な先生方に理事としてご参加頂きましたので、会務の遂行には自信を持っておりますが、率

先して職務を遂行して頂くには熱意と興味を持って取り組んで頂く必要があります、この点に関しても私の責務と心得ております。

またその他の課題として3年目を迎える特定健診や脳卒中、糖尿病の疾病連携事業も着実に進めて行かねばなりませんし、関連する地域リハビリテーションや認知症、がん対策、在宅医療推進のための病病、病診連携も大切です。本年1月に公立福生病院の新築落成がなり、青梅市立総合病院、公立阿伎留医療センターと名実ともに三基幹病院の態勢が整いましたので、歯科医師会や薬剤師会との連携を保ちつつ西多摩地域の医療、保健、介護、福祉の充実に努力して参るつもりです。以上課題について簡単に述べさせて頂きました。が課題に取り組む基本的考え方についても一言申し上げます。昨今医療崩壊が叫ばれて久しく、政権交代により民主党政権が誕生致しましたが、ご承知の如く我々の期待は見事に外れてしまいました。現在直面する厳しい医療状況は直接的には自民党政権下の長期医療費削減政策が原因ですが、様々な要因が複雑に関連し単純に医療費だけの問題では無いと思われます。様々の要因を分析することは勿論必要ですが、余り個々の問題にのみ捉われると全体像を見失うことになりかねません。この際必要なことは、我々医師がもう一度原点に戻って医療とは何か、医師の在るべき姿とはどうあるべきかを問い直すことから始めることではないかと思ひます。その考え方を基本に据えなければ医療の再生はあり得ないと考えます。会員の皆様にはご理解ご協力を心よりお願い申し上げます。

副会長就任の挨拶



田坂 哲哉

この度、副会長の御指名を頂いた田坂と申します。昨年度までは総務担当理事を担当してきました。特定健診が始まり健康診断の方式や請求方法が大きく変わり、多摩地区の他医師会との協議会に参加し情報交換を行い対応してきました。平成25年までには公益法人法改正に伴い、事業・会計・運営の見直しなどなど解決しなければならない多くの問題があります。この改正に伴い固定資産である会館の問題も大きく関連してきます。また、同年は西多摩医師会100周年でもあり、記念誌の出版など多くの会員の方々のご協力が必要になってきます。任期中、医師会の運営に貢献できるように努めたいと思います。御協力よろしくお願ひいたします。

副会長就任の挨拶



鹿見島 武志

このたび副会長を拝命致しました鹿見島です。担当は学術・広報・保険ですが、担当理事の先生方とともに医師会諸事業の継続的な発展のために努力して参りたいと存じます。先の政権交代により政治・経済においては多々の変化が生まれつつあり、日本の政治・経済・社会の進路の舵取りの方向性が国民としても大いに気になるところです。我々が直面する医療の分野でも日本医師会内で大きな変革が見られ、今後の医療情勢に及ぼされる影響は当然下部組織である地区医師会にも大であることは必定です。当医師会も100周年記念行事、公益法人化問題、地域医療の充実、新会館建設など、取り組むべき課題は数

多く山積しております。かかる大きな変化の中で利益とすべきは受け入れるが、不利益な点には目をつぶる訳にはゆきません。それゆえに、会員間相互で多様かつ大量の情報を効率よく共有化し、流通性の向上を図ることはこのような時代の変遷には極めて重要と思われるので、このような視点から会長を補佐して参りたいと思います。

なお当面の課題は西多摩医師会創立100周年記念誌発刊に向けての準備を担当しています。すでに昨年より委員会を立ち上げ、委員会の先生方の協力を得て数回にわたり具体案を検討して参りました。政権交代とは何の関係もありませんが、数十年は残る記念誌です。是非とも会員の先生方のご協力を仰ぎたいと思いますのでよろしくお願ひします。

総務部担当就任の挨拶



野本 正嗣

総務担当の野本でございます。総務部は医師会事業の円滑運営をサポートし、医師会活動の活性化を図ることを任務としております。具体的には(1)定例理事会、定時総会の開催、(2)新年賀詞交歓会、納涼会、クリスマス会、新入A会員との懇談会の開催、(3)会館建設準備委員会、100周年記念誌編集委員会のサポート、(4)新公益法人制度検討委員会の設置などが挙げられます。その他として事務機能の効率化、情報処理・情報伝達の迅速化、また渉外活動として関係自治体、関連諸団体との緊密な連携、地域住民に対する公益活動としての公開講座開催などその業務は多岐に渡ります。過去6年間 広報部、学術部、経理部と担当した経験を活かし、与えられた仕事を精一杯遂行していきたいと考えております。ご支援、ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

学術部担当就任の挨拶



江本 浩

この度、学術部を担当させて頂くことになりました江本です。学術部が開催する年間行事には、各種の学術講演会、パネルディスカッション、市民健康講座、臨床報告会などがあります。我々臨床医は目の前の患者さんに対して、自身が培ってきた経験による医療だけではなく、エビデンスに基づく日進月歩の最新の医療を提供すること、あるいはその手助けをすることを、社会から求められています。我々がこうしたニーズに応えるために、医師会の生涯教育活動があると思われませんが、皆様もご承知のとおり、今年度より日本医師会の生涯教育制度が大幅に改正され、複雑なカリキュラムが設定されました。各地区医師会はそれに従った学術活動を企画する必要がありますので、新制度については学術委員会において詳細に検討し、適切に対応して行きたいと思っております。一人でも多くの会員が参加して頂けるような、これまで以上に興味深い、充実した内容の学術活動を各委員と連携し企画したいと考えております。皆様のご指導およびご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

地域医療部 公衆衛生担当就任の挨拶



川口卓治

川間先生の後任として、担当します。池谷先生担当の地域医療部のなかの公衆衛生です。地域医療保健衛生協議会、在宅難病患者訪問診療事業調整委員会、在宅難病訪問診療、肝炎ウイルス検診、特定健診機関届け運営規定掲載、新型インフルエンザ対策委員会など、

行われていました。高齢者が増加していくなか、在宅医療などにも前向きに、取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

地域医療部 学校医担当就任の挨拶



宮城真理

今回初めて理事に就任し、学校医委員会を担当させて頂きたく宮城です。歴史ある西多摩医師会で恐らく女性で初の理事ではないかと思いき緊張しています。西多摩医師会には現在4市3町1村が含まれています。学校保健会は、各自治体別に設置も活動も様々な様子です。また各学校での学校保健委員会も設置率は向上しましたが、活動状況となると不透明な部分もあります。私は福生市の学校保健会会長を数年前から就任していますが、昨シーズンの新型インフルエンザの流行時などは西多摩地区での情報交換がもう少しスムーズにできると良いのではないかと感じました。地区別にいろいろな方法で活動されている事は理解できますが、地区間での意志の疎通がもう少しつながる様に、また児童、生徒、教職員に於ける学校生活内での問題点が解決の方向に向かえる様に皆様と協力して頑張りますのでよろしくお願い致します。

地域医療部 産業医担当就任の挨拶



蓼沼翼

西多摩医師会の理事を担当しましてから、3期目に入りまして、今年より産業医を担当することになりました。

昭和46年、僕が当時勤務していました大学病院の近くに、某カメラ会社のレンズ工場があり、そこで産業医を勤めたことがあり

ます。

当時は、鉛や有機溶剤や粉塵などが招く災害を如何に防ぐか、あるいは職場の環境整備などが主な問題でした。

しかし、その後大きく時代は変わり、現在は産業医の取り組むべき問題は、労働者のうつ病対策、自殺予防対策が主体となってきました。

これを機会に、メンタルヘルスを勉強していきたいと考えています。

よろしく願い申し上げます。

地域医療部 介護保険担当就任の挨拶



山 川 淳 二

「右も左もわからない新米理事です。皆様の足を引っ張らないようにしたいと思えます。」

病院部担当就任の挨拶



大 島 永 久

この度、公立福生病院副院長の松山健先生の後任として病院部の病院委員会を担当することになりました青梅市立総合病院副院長の大島永久です。

本年度の診療報酬改定では久しぶりのプラス改定となりましたが、小児科や救急医療などととも地域医療連携にもかなり重点配分されており、医師会の中での病院部はこれまで以上に重要性が増すものと思われま。

医師会の先生方には、私自身が青梅市立総合病院では地域医療連携を担当している関係で日頃からいろいろご指導をいただいております。また、西多摩病院会の活動のひとつである市民フォーラムでは西多摩医師会主催、

西多摩病院会共催という形で市民に医療や介護の情報を提供して参りました。院内の地域医療、病院会でのわずかな経験しかございませんが、西多摩地区における病診連携や病病連携の促進などについて少しでも貢献できればと思っております。会員の先生方・病院委員会の先生方のご指導、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

保険部担当就任の挨拶



岩 尾 芳 郎

このたび保険部担当の理事に選任された岩尾です。あきる野市でクリニックを開業して5年になりました。以前病院勤務のころは、保険に関することは全て事務方任でしたので、最近になりやっと社保や国保の書類に慣れてきたところです。鹿児島先生や蓼沼先生の御指導を受けながら務めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報部担当就任の挨拶



近 藤 之 暢

広報部を担当させて頂くことになりました近藤と申します。

まだ理事一期目であり不案内なところも多く、諸先輩方のご指導を承りながら、何とか任を果たしていきたいと思っております。

広報部活動は会報誌の編集発行です。前任の広報部長鹿児島先生の就任挨拶で『広報活動を通じて医師会会員相互の親睦、交流さらに勉学の場を提供していきたい』とおっしゃっていました。基本的には私も同様の考えであります。引き続き後しばらくの間は同様な形式で会報誌の編集発行を行っていくつ

(6)
 もりです。

『西多摩医師会報』ですので基本的には一般の方は読みません。読者のほとんどが医師(や医療従事者)である訳ですから医師同士の疑問や医師だからこそ理解できる苦悩なども少しずつ誌面に掲載できればよりいっそう相互の親睦や交流に役立つように思っています。個人的な意見や会員に伝えたい情報、検討事項なども誌面を利用し発表の場として頂けるようになれば幸いと考えています。

私が行動が遅く多くの先生方に迷惑をかけることがあるかと思えます。理想ばかり書くと無理なマニフェストのようになってしまいますし活動してないではないかとおしかりを受けることになりそです。そのときは寛大なるお気持ちでお許しいただくと同時におしかりをいただければ幸いです。

最後になります『会報誌』です。

多くの先生方のご投稿が無ければ成り立ちません。ご協力ください。

地域医療部 総務部・福祉担当就任の挨拶



池谷 敏郎

開業17年にして初めての理事を担当させていただくことになりました。開業当初、西多摩医師会会長をなさっていた松原貞一先生に「それぞれの医者が自分の医院で良い診療さえ行っていれば理想的な地域医療が出来ると思っはいけない。良い医療環境の確立には医師会の活動が不可欠であることを忘れてはいけない。」というお言葉をいただきました。この言葉は長い間、心の片隅に残っております。今後は良い医療環境確立のため、医師会の運営と活性化に少しでも貢献できますよう努めてまいりたいと思えます。皆様、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

経理部担当就任の挨拶



川間 公雄

経理担当理事になりました川間です。

今までは医師会の経理は、基本的に収入が医師会員の会費と各種の事業収入であり、支出との整合性がそれほど難しくはありませんでした。しかし、今年度からは新々会計基準にのっとりた経理・会計となりました。この2年間は公益法人への移行に向けての経理・会計基準を確立し、会員の先生方に理解の得られることを目指します。

よろしくお願ひいたします。

監事就任の挨拶



松原 貞一

巷間 この度の歯科診療報酬が大幅にアップされたのは、歯科医師会がいち早く支持政党を自民党から民主党に切り替えた為と言われてる。ことの真偽は別として、遅まきながら我が日本医師会もこの度の会長選挙で、代議員の三分の一強の賛同を得て、民主党を支持する候補者が会長となった。これまで日医の為に尽力された武見 敬三氏の再選の目もこれで霧消したことになるのか。

世論調査によると、国民の半数が支持政党が見当たらないという。民主党に政権が交代し、医療にも多少明るい光がさすかと思ったが、今回の診療報酬改定を見る限り、明細書の発行義務などは医療にとって最も大事な患者との信頼関係をそこねるばかりで、国民医療の現場を更に複雑にし混乱の度を深めただけである。一般国民と同様医師会もまた自民政権に愛想を尽かし政権交代民主党に些かの期待をしてはみたが、期待は早くも夢に終

りそうである。右を見るべきか左を向くべきか、医師会としても今が思案のし所である。「医政なくして医療なし」とは古くから言われていた言葉である。かつての日本医師会には医療体制を守るためには保険医総辞退も出来るほどの定見と団結力があつたが、今は遠い昔の物語である。

外にあつては政権交代という大きな変革の時代、内にあつては法人格問題、会館建設問題、百周年記念事業準備とかつて無いほど難問山積の時、選ばれて任に当る新執行部にとっては責任の重い2年間になることと思う。会長が代わると、医師会が変わるといわれる。横田新会長の強い指導力を期待するとともに、選ばれた理事各位のご活躍を祈りつつ、監事としての職責を果たしていきたいと考えています。

監事就任の挨拶



足立卓三

今年は理事の改選期にあたり8名の新理事が誕生しましたが、各先生ともしっかりと自分の意見を持ち、発言も活発で非常に頼もしく感じられました。

100周年記念行事、新公益法人制度、会館建設等、或は各自治体との種々の交渉等々、問題は山積しており、これにきちっと対応していかなければならない事は云う迄ありませんが、その一方で今のような閉塞感の強い時代だからこそお互いの顔の見える風通しの良い医師会であつてほしいと考えております。それが組織の活力の源になると信じています。



東京都医師会担当理事就任の挨拶



真鍋勉

3期6年、会長として会務を執行して参りましたが、此度、東京都医師会担当理事として都医師会に出向という事になりました。都医師会では、代議員会議長として、また、日本医師会においては今期より議事運営委員会委員に任命されました。今後は、都医師会理事会や日医のホットな情報を西多摩医師会の理事会を通じ、会員の皆様に提供し、当医師会の活動に少しでもお役に立ちたいと思いますので、今後共よろしくお願い申し上げます。

都医専任担当就任の挨拶



新執行部の出発にあたって

玉木一弘

西多摩医師会に入会し25年、いわゆる日本の失われた20年を、医業において経験したことになります。入会当時から医療費亡国論は頭をもたげており、先行きの不透明感が漂っていました。やがて医療提供者へのバッシングとともに、次々と医療費削減策が実施され、閉塞感に医療福祉界全体が封じ込められました。国家経済の落日や少子高齢化社会への懸念も現実のものとなり、共助に支えられてきた国民皆保険やセーフティネットは揺らぎ、想像を越えた医療崩壊と受診抑制が日常のこととなりました。

ならば消費税へと税方式に活路を求める議論が活発化していますが、自助と共助の活力が失われ、公助に傾けば傾くほど、油断すると医師の裁量権や開業権、医師と患者の自由な関係における医療提供に制約が課されるリスクも忘れてはならないでしょう。一方で、公助は“社会主義的”と捉え、自助にこだわっ

たアメリカの医療制度が、民間保険のマネジドケアに乗っ取られた教訓も忘れてはならないでしょう。

“天は自ら助くる者を助く”の言葉通り、病気や障害があっても大部分の人が自立し、個の自由や生活の質を追求できる社会が堅持されてこそ、どうしても公助が必要な人を支えることが出来るのだと思います。

いつの時代も先人達が医学を進歩させ、人に適用し、社会の隅々まで届ける“ミッション”が継続され、まがりなりにも医療先進国として人間の安全保障が達成されて来たという誇りも忘れてはならないと思います。

それが医業や医師会の“公益性”であり、これからもこの国の事情に合った医療政策を、為政者におもねることなく提言すること。医師と患者自由な関係に立脚した、時代の疾病構造に合った医療現場造りを継続すること。“公益性”を次世代に継承するために、時代や世代に合った医療提供スタイルや医師会組織改革を断行して行くことがこれからの医師会の主要な課題だと思います。

本年4月1日に日本医師会長選挙がありました。東京都医師会では唐澤祥人会長の三選を目指し、「継続と刷新こそ力」を掲げ、下記の主張で選挙に臨みました。

◆日医が負った試練は、診療報酬のための新政権との関係といった次元のことではなく、利益追求集団とのそしりをはねのけ、多様な立場の医療提供者が心一つにして現場を維持しながら、医療を覆う閉塞感を打破し国民医療再生を目指す、国民の負託に応える医療提供者集団として、再出発することにある。

◆新公益法人制度を踏まえ、多様な立場の医師が参加できる組織改革の道を進みすべての医師を代表する団体として日医の当事者能力を堅持する。

◆日医と日本医師連盟の峻別を進め、政治的混迷を見極め、日医は国民の声をもとに学術団体としての専門性において日医「グランドデザイン2009」を磨き上げ“国民に対して医療のあるべき方向性、将来ビジョンを提示”する。それを基盤として日医連は時の政権担当者と対話し、時の政権の見識における“国

民に寄り添う医療制度の実現”を導く。

◆日医の役員選挙を政権選択の「踏み絵」にはしない。寄って立つのは政権ではなく理念と経験、そして国民の信頼を得るための方策と実行力にある。理念は人間の安全保障の概念に基いて「すべての国民が最善の医療を受けることのできる社会の堅持」にあり、方策の要は“国民の声の把握と情報発信力、中央政界再編への対応、正しく地域医療を知っている地方議員や自治体との関係作り、多様な医師が参加できる組織作りと次世代医師の育成、そして国民に聞く耳を持つてもらえる私たちの組織の在り方の改革”等にある。

◆医業リスクに対する法制度の整備を実現する。

原因究明と再発防止に力点を置いた、刑事・行政処分など制裁に偏重しない医療関連死に関する法的整備に取り組み、国における医療安全調査委員会設置法案（仮称）大綱案をとん挫させることなく、一国民である医師の憲法上の権利を堅持し、医療者の自立性を確保するための検討と情報発信を継続してゆく。

◆勤務医師、次世代を担う医師を支える。

次世代医師が、生涯を通じて地域の保健・福祉・医療に携われるよう、その地域において、自らの価値観に応じた「キャリアデザイン」を描き実現する様々な支援策を機能させて行く。とくに女性医師については、短時間正規雇用制度、保育環境の充実による「ワークライフバランス」の維持、アクセスしやすい「キャリア維持や職場復帰プログラム」の普遍化等が重要である。また、地域医療ニーズと次世代医師のマッチングシステムを充実し、「地域医療連携の中で多様な経験を積み重ねることが出来る生涯研修システム」の確立をめざす。

◆大学医学部を支え、医療・教育・研究機能の崩壊の連鎖を止める。等々です。

残念ながら三候補が乱立し、政権交代の波に飲み込まれ結果が出ませんでした。東京都医師会は自信と信念をもって、この正道を進んで行くことに変わりはありません。会員の皆さまのご理解とご支援をお願い致します。

平成 21 年度 第 2 回定時総会開催

広報部

平成 22 年 3 月 26 日に昭島フォレストイン昭和館にて平成 21 年度西多摩医師会第 2 回定時総会が開催された。真鍋会長による開会宣言ののち湯川文朗先生が議長に指名され、会員総数 515 名出席者および委任状提出が過半数を満し総会は開始された。議事進行に先立ち逝去された栗原琢磨、栗原三省両会員への黙祷が捧げられた。ついで会長より挨拶として医師会創立 100 周年にむけての事業計画として新会館建設、記念誌発行などの準備を進めてきた旨の報告があり、これらを成就するべく全西多摩医師会の先生方の協力を仰ぎたいとの期待を寄せられた。議長の議題朗読ののち以下の審議事項が検討された。



湯川議長



真鍋会長

審議事項

- 第 1 号議案 平成 22 年度各部事業計画案につき承認を求める件
- 第 2 号議案 平成 21 年度収支補正予算書案につき承認を求める件
- 第 3 号議案 平成 22 年度収支予算書案につき承認を求める件
- 第 4 号議案 本会役員・医道審議会委員の選任
- 第 5 号議案 本会互助会役員員の選任

以上の案件につき質問、討論を受け、ついで採決に入り全ての案件が承認された。議長降壇ののち閉会の挨拶、同じく宣言がなされ総会は無事終了した。

なお総会に先立つ講演として今回は公立福生病院眼科医長の津村豊明先生による「涙道内視鏡の臨床応用」についての講演が行われた。以下は抄録である。

☒ 涙道内視鏡の応用 公立福生病院 眼科医長 津村 豊明

流涙症とは涙があふれ、かすみ、視力低下や目がクチャクチャするといった症状を呈し、自動車の運転に不自由を感じ他人と会うのが億劫になることがあるために治療が必要になる。

原因に涙道閉鎖症があり、比較的高齢者に多く女性に多いが原因の詳細は不明である。当院では多摩地域に 2 台しかない涙道内視鏡を用いた涙道閉鎖治療を行っている。

涙道内視鏡は外径 0.9 mm の曲の硬性内視鏡で涙点から挿入して鼻内まで涙道を観察することができる。チャンネル部から生理食塩水を流して涙道内を膨らませながら観察をし、涙道閉鎖部を内視鏡先端でプジーして閉鎖部を開放し、涙管チューブを挿入する。鼻内視鏡観察を併用することにより成功率の高い涙道治療を行っている。

当院における涙道内視鏡を使用した涙管チューブ挿入の治療成績は以下の通りである。

平成 21 年 6 月～平成 22 年 2 月までに行った 15 例 15 眼で年齢 60.0 歳 (17～82 歳) で男性 6 名女性 9 名において、自覚的に症状改善は 14 例で涙管チューブ抜去した 11 例で再閉鎖は 1 例のみであった。

涙道内視鏡は涙道内の観察を可能にし内視鏡的プジーを安全に行うことができる。将来、更なる応用として涙嚢鼻腔吻合術 (鼻内法) などへも活用することを検討中である。

専門医に学ぶ 第65回

問題

【症 例】 28歳 女性

【主 訴】 下腹部痛

【既往歴】 花粉症

【現病歴】 平成21年11月ごろより蓄尿時の下腹部痛を自覚していた。排尿後は症状の軽快を認めていた。経過をみていたものの、徐々に症状の悪化と夜間の排尿を認めるようになったため、平成22年1月18日当院泌尿器科受診した。

【現 症】 下腹部に軽度の圧痛を認めたが、その他特記すべき事項なし。

【検査所見】 (検尿) pH 5.5、比重 1.006、蛋白ー、糖ー、ケトンー、潜血ー (沈渣) 赤血球 0/HPF、白血球 0/HPF

【膀胱鏡所見】

Fig. 1 生食注入前 膀胱粘膜に異常を認めない



Fig. 3 生食注入後 さらに出血が増大する



Fig. 2 生食注入早期 粘膜面より点状出血を認める



Fig. 4 生食排出時 出血の広がり方を認める



問題 考えられる疾患は何か？

間質性膀胱炎

解説

間質性膀胱炎とは、膀胱の非特異的な慢性炎症を伴い、頻尿・尿意亢進・尿意切迫感・膀胱不快感・膀胱痛などの症状を呈する疾患です。女性に多く、全体の約90%を占めるといわれています。特徴的な症状は、排尿により軽減する膀胱痛ですが、約半数では認めないともいわれています。尿検査は異常を認めないことが多いです。鑑別疾患としては、膀胱癌、膀胱結石、過活動膀胱、子宮内膜症、尿管の炎症、細菌性膀胱炎、前立腺炎、尿道炎、下部尿路閉塞、多尿、心性頻尿などが挙げられます。排尿症状と膀胱鏡にて膀胱壁に潰瘍または水圧拡張後出血を認め、かつこれらを説明できるほかの疾患や状態がない場合に間質性膀胱炎と診断されます。間質性膀胱炎の明確な原因に関しては明らかになっておりませんが、機械的刺激、アレルギー、免疫、神経血管性、感染、環境などの多くの要因が関与していると考えられています。その他にも、膀胱粘膜の透過性の亢進、肥満細胞、神経原性、感染、尿毒性物質、遺伝等が影響していると考えられています。

治療

1. 膀胱水圧拡張

診断と治療を兼ねて間質性膀胱炎が疑われた場合にまず行われます。膀胱鏡で観察しながら80 cm H₂Oで膀胱を過伸展させ、膀胱粘膜からの特徴的な出血や潰瘍を確認します。疼痛を伴うときは麻酔下に拡張を行うこともあります。膀胱拡張後、症状はある程度改善しますが、効果持続期間は半年程度のことが多いといわれています。

2. 内服治療

三環系抗うつ薬や抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬、抗コリン薬、NSAIDs等の鎮痛薬などが使用される他、定時排尿、飲水コントロール、骨盤底筋訓練、膀胱訓練などの行動療法もある程度の効果は期待できます。

3. 膀胱内注入療法

膀胱内に薬剤を注入し、直接膀胱壁に薬剤を作用させる方法です。薬剤としてはDMSO（ジメチルスルホキシド）やヘパリン、ステロイドが使用されることがあります。

4. 外科治療

潰瘍がある症例では経尿道的切除・凝固術を行うことがあります。また、症状が非常に重度な場合には、膀胱拡大術や膀胱摘出術という手術を行う場合もあります。

症例のケースは外来にて水圧拡張を行った後、症状がある程度軽快したため現在外来にて経過観察を行っております。

間質性膀胱炎は原因不明の難治性疾患であり、患者のQOLを著しく低下させる疾患です。最近、過活動膀胱といった蓄尿障害を主とした疾患が増加傾向にあり、その中で間質性膀胱炎のような疾患が見過ごされている可能性があります。適切な診断、治療を行うためにも、排尿状態が改善しない場合は泌尿器科医にコンサルテーションする必要があると考えられます。

感染症だより

〈全数報告〉

第11週(3/15-3/21)から第15週(4/12-4/18)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 6件 (肺結核 4件、無症状病原体保有者 2件)

(三類感染症) 腸管出血性大腸菌感染症 1件(無症状病原体保有者。血清型・毒素型はO91(VT1))

(四類感染症) A型肝炎 1件

レジオネラ症 1件 (肺炎型)

(五類感染症) 梅毒 1件 (早期顕症梅毒Ⅱ期)

〈管内の定点からの報告〉

	11週	12週	13週	14週	15週
	3.15～3.21	3.22～3.28	3.29～4.4	4.5～4.11	4.12～4.18
RSウイルス感染症					
インフルエンザ	1	1			
咽頭結膜熱					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	5	6	6	4
感染性胃腸炎	27	16	26	32	20
水痘	1	3	8	7	6
手足口病	1				3
伝染性紅斑				1	
突発性発しん		1	4	1	3
百日咳					
ヘルパンギーナ					
流行性耳下腺炎	8	3	6	2	1
不明発疹症					
MCLS					
急性出血性結膜炎					
流行性角結膜炎				1	2
合計	42	29	50	50	39

基幹定点報告対象疾病

〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウムを除く)〉

報告はありませんでした。

〈コメント〉

① インフルエンザの発生が減少しています。

管内定点からの報告は第13週以降ありません。都内では定点当たりの報告数が第15週で0.05、全国では0.14です。ウイルスの亜型は都内ではシーズン開始の2009年第36週(8.31～9.6)から2010年第13週(3.29～4.4)までの累計で、AH1型1件、AH3型0件、B型3件、AH1pdm(新型)726件です。

② 流行性耳下腺炎の発生が減少傾向です。

定点当たりの報告数は第15週では管内0.20、都内0.66、全国1.12です。都内では横ばい状態ですが過去5年平均と比較して、高いレベルで推移しています。

③ 感染性胃腸炎の発生が続いています。

管内の定点医療機関からの報告数は第15週で定点当たり4.00人で、東京都は8.36人、全国は8.99人です。増減を繰り返しながら減少していく傾向にはありますが、それでも都内では過去5年間の同時期と比較して多いです。引き続き注意が必要です。

2010年第6週(2.8～2.14)～2010年第13週(3.29～4.4)までに都内の定点医療機関から感染性胃腸炎の臨床診断名で39検体が搬入されています。検出された病原体はロタウイルス11件、ノロウイルス9件、アデノウイルス4件、ライノウイルス1件でした。

④ 水痘の発生が続いています。

定点当たりの報告数は、第15週では管内1.20、都内1.4、全国1.65です。都内では過去5年平均と比較して高いレベルで推移しています。

(文責：西多摩保健所保健対策課)

広報だより



異常気象と私の不運

瑞穂町 すずき瑞穂眼科 鈴木寿和

最近4月なのに積雪があったり、かと思えば夏のような暑さだったりとおかしな陽気が続いていますが、皆様の体調はいかがでしょう？

私は毎年悩まされている花粉症がたいした事なかったのですこぶる快調です。

ただ、クリニックでは花粉症患者が少ないためか、悪天候のために高齢者が外出を控えているからか、前年度と比べて来院者数が減っています。診療報酬改定による減点も重なり、体調より減収が堪えている今日この頃です。

ところで、3月にゲリラ豪雨があった事を覚えているでしょうか？調布飛行場でヘリコプターが横転したなどとニュースになっていた日のことです。

我が家ではやっと完成した新居に引っ越して1ヶ月経ち、落ち着いてきた頃でした。夜半から風が強くなりマンション生活に慣れていた家族はビュービューという音に緊張して寝付けずいたところ、夜中3時頃轟音とともに部屋に風が入り込んできました。間髪を入れず娘の悲鳴が上がったのでベッドから飛び起き娘の部屋に行くと4寸ほどの木の柱が窓を突き破って天井に刺さっていました。最初は何が起こったのか状況がつかめませんでした

たが、原因は風で隣邸の2階テラスが外れて舞い上がり、我が家の屋根でバウンドして反対側の道路に落ちたためでした。幸い内倒し式の窓だったのでガラスは割れずに枠ごと外れたために真下で寝ていた娘は無傷でした。もしガラスが割れていたら顔面に破片を浴びるところでした。

夜中にも関わらず近隣の方々が集まってきて柱の撤去を手伝ってくれましたが、大人5人がかりでやっと引きずる事ができるほどのとても重い物でした。そのテラスは隣邸と我が家の2件分(約20m)飛んだ事になり、自然の驚異を思い知らされました。

結局、屋根瓦や窓と周りの外壁、娘の部屋の天井の破損で修理代は80万円になりました。もちろん全額隣宅に負担していただきましたが、新築だっただけにショックが大きいです。また、小5の娘はあれから1ヶ月経ってもトラウマが抜けず、独りで寝る事ができずにいます。

もし一連の異常気象が温室効果ガスによるものであれば、エコロジーが叫ばれているこのご時世に明細書発行のためA5用紙の消費が異常に増えた事は色々な意味で腹立たしい限りです！

連載企画



アイスショー

青梅市 土田医院 土田大介

先日、代々木第一体育館へアイスショーを観に行ってきました。昨年初めて観たこのショーを妻が大変気に入ってしまい今年も行くことになってしまったのです。冬季オリンピック直後の公演でアイスダンスを含むフィギュアスケートの日本代表選手8人がそろい踏みとあって、昨年にも増して多くの観客であふれていました。安藤美姫選手のクレオパトラや織田信成選手のチャップリンなど旬な演技に加え、国内外のプロスケーターによるコラボレーションや、世界ジュニア選手権で優勝した羽生選手、村上選手の将来性あふれる堂々とした滑りをまとめて観ることができ、フィギュアスケートファンならずとも楽しめる公演でした。中でも世界選手権で優勝した高橋大輔選手の演技にはスタンディングオベーションが起こるほど、観るものが何か引き込まれてしまうようなオーラを感じさせられた。浅田真央選手が試合でないにもかかわらず挑んでくれたトリプルアクセルが失敗してしまったのは残念だったが、オリンピック並びに世界選手権の余韻を十二分に味わせてもらいました。若干20歳前後の彼らが日本国民の期待を背負って世界の舞台に立つ姿には、自分の大学生活の頃を考えると、ただただ脱帽の一言です。

ところで、演技の終盤でよく見られる、最初ゆっくりだった回転が途中から急に速くなるというスピニングがつい最近まで不思議でした。ネットで調べてみると原理は「角運動量保存の法則」によるものであって、手を上に伸ばしたり腕の前で合わせることで慣性モーメントを小さくすれば、角速度が大きくなり回転スピードが上がるとい物理学的には当たり前前の現象なのだそう。ついでにフィギュアスケートの目玉でもあるジャンプについても物理学的に考えてみるとなかなか興味

深い。ジャンプを放物線運動と見なすとジャンプの高さは滞空時間の2乗に比例する、すなわちジャンプが高ければそれだけ滞空時間を長く保て回転する時間を稼げる。実際に近い数値では、60cmの高さを飛んで0.7秒の滞空時間を得られる計算だ。読売新聞の記事によると、浅田選手と同じトリプルアクセルで銀メダリストになった伊藤みどりさんは、その脚力で高く飛び上がることによって滞空時間をかせぎ、回転数を増やすことが可能だったという。逆に浅田選手の場合は、高く飛べない分、回転スピードを上げることでトリプルアクセルを可能にしてしまった。「マッチ棒」とも言われるその体型(身長163cm 体重47kg 公式サイトより)が慣性モーメントをより小さくし、男子並みの高速回転を作りだしている。伊藤みどりさんの当時の体型(身長144cm 体重44kg ネットで調べ得る範囲内)と比較すると2人の違いがよく分かる。それにしても助走という水平方向の運動を垂直方向のジャンプにいかん利用しているのかが不思議なのだが(走り高飛びも同様)、さらに回転運動まで加わるのだから、何とも物理学的には複雑な動作である。回転ジャンプがこうした垂直運動と回転運動の絶妙なバランスの上に成り立っていると考えると、選手がジャンプを決めてどこからともなく起こる観客の拍手にも納得である(実際にそこまで考えて拍手はしていないと思われるが)。

ミスをしたくないことを求められる緊張感のある競技は見応えがあるが、奇抜な衣装や小道具を用い、氷上で寝転んだりバック転をするなどプレッシャーから解放されて自由に演技をしているのも見ていて楽しい。難しいことを考えなくても良いので、機会がありましたら是非とも彼らの遊び心に触れてみては如何でしょうか？

伝言板

① 平成22年度 西多摩医師会第1回定時総会

日 時：平成22年5月28日（金）午後7時50分（時間厳守）

場 所：フォレストイン昭和館 TEL 042(542)1234

講 演：『脳卒中回復期リハビリテーションの現状について』（講演予定）

公立阿伎留医療センター 岡田 真明先生

② 肝炎肝癌学術講演会

日 時：平成22年6月19日（土）16:30より

場 所：パレスホテル立川 4階「ローズ東」

〒190-0012 立川市曙町2-40-15 TEL 042-527-1111

【はじめに】16:40～17:00

『助成金、診療報酬について』 中外製薬株式会社

座長：青梅市立総合病院 消化器内科 部長 野口 修先生

【特別講演1】17:00～18:00

『栄養から見た肝癌予防治療』

演者：東海大学医学部付属病院 肝疾患医療センター長 白石 光一先生

座長：東海大学八王子病院 副院長 消化器内科 教授 渡辺 勲史先生

【特別講演2】18:00～19:00

『C型慢性肝炎の治療戦略 ～Response - Guided therapy～』

演者：兵庫医科大学病院 肝疾患センター長 西口 修平先生

理事会報告

★ Information

3月定例理事会

平成22年3月23日（火）

西多摩医師会館

〔出席者：真鍋・横田・中野・鹿児島・川間・小机・鈴木・田坂・蓼沼・野本・松山・宮下・松原・足立〕

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長連絡協議会報告（副会長）

2. 各部報告

総務部 3/11 市民公開講座「脳卒中和認知症」（秋川キララホール）報告

学術部 3/16 第8回西多摩臨床報告会実施報告

産業医 3/15 西多摩産業保健センター運営協議会報告

3. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅 特になし
 福 生 特定健診について
 羽 村 4/2 総会
 あきる野 特定健診について、6/1 より開始
 瑞 穂 特になし
 日の出 特になし

4. その他報告**【2】報告承認事項****1. 入会会員について —— 承認 ——****2. 平成 22 年度青梅市立小中学校医の推薦について（変更） —— 承認 ——**

- 1) 第7小、第6中 新 坂元 龍 会員、旧 堀田 洋夫会員（退任）
 2) 河辺小 新 成井 研治会員、旧 坂元 龍 会員

3. 平成 22 年度西多摩地域連携事業（脳卒中検討会及び糖尿病検討会）座長について

—— 承認 ——

脳卒中検討会 小机敏昭先生（継続）及び糖尿病検討会 野本正嗣先生（継続）を推薦する

【3】協議事項**1. 次年度発足する新公益法人制度移行検討委員会（仮称）について**

22年4月以降 真鍋、高水、坂本 各地区長、総務 委員長 中野

2. 東京都医師会各種委員会委員（本会選出）の定例理事会への会議内容の報告について

—— 承認 ——

3. 平成 21 年度西多摩医師会第 2 回定時総会次第について**4. 診療報酬点数改正に伴う講習会の実施について**

日時：22年4月6日（火）午後7時30分～

講師：東京都医師会保険担当理事 小松 英昭先生

場所：秋川ふれあいセンター あきる野市平沢 175-4 TEL 042-550-3311

5. その他

4月定例理事会

平成22年4月13日（火）

西多摩医師会館

〔出席者：横田・田坂・鹿児島・池谷・岩尾・江本・大島・川口・川間・近藤・蓼沼・野本・宮城・山川・松原・足立〕

【1】報告事項**1. 各部報告**

総務部 3/26 平成 21 年度定時総会報告（会員 515 名、議場出席 43 名、委任状出席 232 名）
 5 議案 原案通り可決

- 3/27 市民健康講座報告（羽村コミセン）約 105 名参加
 保険部 4/6 診療報酬点数改正講習会（小松、高木先生）（秋川ふれあいセンター）
 学術部 4/15 「漢方薬ってどう使うの？さらに打率を上げるには」
 帝京大学外科学教室准教授 新見正則先生
 経理部 経理会 4/21、会計監査会 4/23 開催
 病院部 3/26 第 8 回市民フォーラム会計報告運営経費総額 ¥195,664
 西多摩地区病院会と折半医師会負担 ¥97,832 の承認

2. 地区会よりの報告（各地区理事）

- 青 梅 4/3 青梅市三師会総会・懇親会
 4/9 医師会総会 22 年度の行政の事業計画、医師会の予算案、休日診療の開始
 についてなどを討議
 福 生 特定健診、5 月に幹事会
 羽 村 4/20 総会
 あきる野 3/15 例会、役員を選出
 瑞 穂 特になし
 日の出 特になし

3. その他報告

- 日本医師会長選挙結果について 4/1（総数 357 人、欠員 1 人）
 当選 原中 勝征氏 131 票（森 洋一氏 118 票、唐澤 祥人氏 107 票）
- 西多摩三師会役員会（歯科医師会館講堂）
 議題 各会役員の推薦について 他

【2】報告承認事項

1. 入会会員について —— 承認 ——

- A 会員：小林 暉佳 青梅成木台病院
 B 会員：奥多摩病院 2 名、高木病院 3 名、公立福生病院 9 名

2. 医道審議会委員の補充選出者について —— 承認 ——

小机 敏昭先生

3. 平成 22 年度西多摩地区市町村結核対策委員会委員の推薦について（敬称略） —— 承認 ——

- 西多摩理事会代表 宮城 真理（学校医担当理事）
 田坂 哲哉（副会長）
 地区学校医代表 瀬戸岡俊一郎（瀬戸岡医院）
 片平 潤一（片平医院）

任期 平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日

【3】協議事項

1. 定例理事会の運営の仕方について

2. 平成 22・23 年度本会各部分掌表・医道審議会一覧表（案）について

各委員会の委員は担当理事が選出推薦し、理事会に報告

3. 平成 22 年度決算関連の報告について

- 1) 平成 21 年度各部事業報告（案）について（1）
- 2) 平成 21 年度西多摩地域脳卒中医療連携事業実施報告について（2）
- 3) 平成 21 年度西多摩地域糖尿病医療連携事業実施報告について（3）
- 4) 平成 21 年度西多摩地域産業保健センター事業精算報告・同 22 年度実施計画案の承認について（4）
- 5) 平成 21 年度青梅青色申告会医師会支部会計報告・22 年度同予算書案について（5）

4. 青梅市立総合病院との連携事業に関して

- 1) 地域連携夜間・休日診療について
（地域連携小児夜間・休日診療について（既協定書の変更を含む））（小児科医師 4 名参加）

5. 学術講演会内容についてのアンケート結果報告（江本理事）

江本理事、後日報告（文章）

6. 東京消防庁救急相談センター救急相談医の登録・派遣について

7. 「西多摩医療圏におけるがん診療の現状と課題」を巡る東京都議会議員との懇談会について 担当 9 名参加予定

8. その他

- 平成 22 年度第 1 回定時総会議題・総会前の講演について
阿伎留医療センターが当番
- 新公益法人制度移行検討委員会開催日などについて
- 平成 22 年度第 1 回定時総会次第・資料発送文章について
- 平成 21 年新型インフルエンザ西多摩保健所の対応について
- 西多摩心臓病研究会のアンケート調査協力について 江本理事担当
- 西多摩地域脳卒中医療連携推進事業「生活リハビリ手帳」配布予定
完成に伴う周知・活用協力依頼について —— 承認 ——
- 青梅市平日準夜診療開始について
H22.5.10 より健康センターで開始
PM 7:45～10:45（月～金） PM 6:00～9:00（土） 参加 34 名
- 東京労働保険医療協会評議員の推薦について
- 共催名義、後援名義の使用について
- 肝炎、肝癌学術講演会について —— 承認 ——

会員通知

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○会報 ○宿日直表（青梅・福生・阿伎留） ○公立阿伎留医療センター医局講演会（3/29） ○学術講演会（4/15） ○西多摩医師会定時総会報告 ○「日医生涯教育制度について」 | <ul style="list-style-type: none"> ○会員名簿作成についてのお願い ○都立あきる野学園地域支援センターアンケート ○産業医研修会（6/5 東京都医師会） ○ ” （7/10 女子医大医師会） ○ ” （7/4・9/19.20 慈恵医師会） |
|--|---|

結晶で、メンバーの協力なくしては到底目標は達成できません。今期最終の編集会議を迎えるにあたり、お陰さまで編集委員会の先生方のご協力を戴き何とか無事任期を終了することができます。この場を借りて連絡の労を取って戴いた事務局の皆さん、原稿執筆を担

当し戴いた諸先生方、迅速な対応をとられるマスダ印刷さんにも心より感謝の気持ちを表したいと思います。次号より近藤之暢先生にバトンタッチしますが、西多摩医師会会員の先生方の御支援を引き続きお願い致します。

鹿兒島武志

お知らせ

事務局より お知らせ

平成22年6月(5月診療分)の

保険請求書類提出

6月8日(火)

— 正午迄です —

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

- ◎相談日 5月は12日(水)
6月は9日(水)の予定です。
 - ◎場所 西多摩医師会館和室
 - ◎内容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
 - ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

社団法人 西多摩医師会

平成22年5月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 鹿兒島武志

宮下吉弘 近藤之暢 江本 浩 鈴木寿和 馬場眞澄
菊池 孝 桑子行正 會澤義之 土田大介 田村啓彦

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



(新社章コンセプト) たましのダイナミックに広がりゆく姿を固文字「T」に象徴しています。力強く上昇するカーブは、未来への確実な成長と発展・信頼性を表現しており、地域をつみこむやさしさと、柔軟かつ躍動的な印象を併せ持ったデザインです。たましの親近感と熱意を象徴するレッド、多摩の自然を象徴するブルーとグリーンを使用します。

価値創造合併 多摩に「たましん」 新生誕生。

〈たましん〉×〈たいへい〉×〈はちしん〉は平成18年1月10日合併し、「多摩信用金庫」としてスタートしました。これからも、「お客さまの幸せづくり」を使命に地域とともに歩んでまいります。

多摩信用金庫

<http://www.tamashin.jp>



東京厚生信用組合は
福祉・医療・医療・環境
衛生の関連事業者の
発展に寄与してまいります。

東京厚生信用組合は、
医療関連事業を営む皆様を
対象として、1953年に設立された
協同組織の金融機関でございます。

既に各地区医師会で多数の会員の皆様にご利用頂いております。これからも、会員の皆様に密着した金融機関として努力して参ります。

安心と信頼の
パートナー

貴重なお時間を有効にお使い
いただくため、訪問による相談
業務を得意としております。

お問い合わせは：医師会担当 落合まで
●本部〈フリーダイヤル〉

ふくしはえんご

0120-294805

ご融資

- ・クリニック運営資金
- ・学術研究資金
- ・ご子息の教育資金
- ・記念パーティー等の資金
- ・お車購入資金
- ・その他どんな事柄でも
ご相談くださいませ。

都医ニュースでお馴染みの「東京厚生信用組合」です。



「人間・福祉・環境」にやさしい
東京厚生信用組合

本 店 新宿区西新宿6-2-18/浅草支店 台東区駒形1-1-12
小平支店 小平市美国町1-31-1/青梅支店 青梅市河辺町10-8-3